

## 教育委員会所管に係る令和3年度当初予算案の概要

令和3年1月20日  
企画管理部財務課

### I 一般会計

**予算額 3,702億2,261万2千円(前年度比 3.2%減)**

#### 1 性質別内訳

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 ③(①-②)	伸率% ③/②
	当初①	構成比%	当初②	構成比%		
人件費	336,425,335	90.9	346,169,250	90.5	▲ 9,743,915	▲ 2.8
投資的経費	7,130,710	1.9	9,661,769	2.5	▲ 2,531,059	▲ 26.2
物件費	8,279,100	2.2	8,203,431	2.1	75,669	0.9
その他の経費	18,387,467	5.0	18,553,017	4.9	▲ 165,550	▲ 0.9
合 計	370,222,612	100.0	382,587,467	100.0	▲ 12,364,855	▲ 3.2

#### 2 項別内訳

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 ③(①-②)	伸率% ③/②
	当初①	構成比%	当初②	構成比%		
1項教育総務費	49,341,664	13.3	53,218,557	13.9	▲ 3,876,893	▲ 7.3
2項小学校費	125,090,480	33.8	127,244,981	33.2	▲ 2,154,501	▲ 1.7
3項中学校費	72,070,055	19.5	74,035,721	19.3	▲ 1,965,666	▲ 2.7
4項高等学校費	78,132,890	21.1	85,316,384	22.3	▲ 7,183,494	▲ 8.4
5項特別支援学校費	38,664,545	10.4	36,937,580	9.7	1,726,965	4.7
6項社会教育費	3,757,894	1.0	2,945,852	0.8	812,042	27.6
7項保健体育費	3,165,084	0.9	2,888,392	0.8	276,692	9.6
合 計	370,222,612	100.0	382,587,467	100.0	▲ 12,364,855	▲ 3.2

#### 3 財源内訳

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 ③(①-②)	伸率% ③/②	
	当初①	構成比%	当初②	構成比%			
特定財源	分担金負担金	179,426	0.0	180,369	0.0	▲ 943	▲ 0.5
	使用料手数料	11,057,380	3.0	11,412,884	3.0	▲ 355,504	▲ 3.1
	国庫支出金	67,210,642	18.2	67,282,229	17.6	▲ 71,587	▲ 0.1
	財産収入	178,909	0.0	177,375	0.0	1,534	0.9
	繰入金	1,456,922	0.4	1,963,543	0.5	▲ 506,621	▲ 25.8
	諸収入	462,069	0.1	492,218	0.1	▲ 30,149	▲ 6.1
	県債	3,179,600	0.9	5,845,200	1.5	▲ 2,665,600	▲ 45.6
一般財源	286,497,664	77.4	295,233,649	77.3	▲ 8,735,985	▲ 3.0	
合 計	370,222,612	100.0	382,587,467	100.0	▲ 12,364,855	▲ 3.2	

## II 特別会計 奨学資金

予算額 13億6,205万9千円 (前年度比24.5%増)

(単位:千円)

区 分		令和3年度 当初 ①	令和2年度 当初 ②	増減額 ③(①-②)	伸率% ③/②
1款1項 奨学資金貸付事業費		1,362,059	1,094,462	267,597	24.5
財 源 内 訳	繰越金	892,855	622,549	270,306	43.4
	諸収入	469,204	471,913	▲ 2,709	▲ 0.6

### Ⅲ 主要事業

#### I ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる

##### 施策1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立

###### 1. ちばっ子「学力向上」総合プランの推進（学習指導課） 164,547千円（R2 177,879千円）

児童生徒の学力向上のため、授業中における学習支援、放課後学習の充実、体験学習など多様な学習機会の提供、魅力ある授業づくりなどに取り組みます。

[主な事業]

###### (1) 学習サポーター派遣事業 132,370千円

児童生徒の学力向上のため、授業中における学習支援、学校教育の一環として行う放課後学習等の取組に対して、退職教員などを学習サポーターとして小・中学校に派遣します。

[補助率] 国1/3

[配置人数] 公立小中学校に192人

[実施内容] 授業中における学習支援、放課後学習 等

###### (2) 多様な学習機会の提供 29,097千円

小・中・高等学校が相互に連携し、専門的な学びの機会を提供するとともに、先進的な理数教育を推進するなど、多様な学習機会を提供します。

[実施内容] ・体験学習の推進

・先進的な理数教育の推進

###### (3) 魅力ある授業づくり 950千円

優れた技能や専門性を活かした授業を行う教員を授業づくりコーディネーターとして認定し、近隣の学校を訪問し授業公開や授業づくり支援により授業改善を図ります。

## 2. 県立学校 I C T 環境整備事業（教育政策課、学習指導課）

46,627千円（R2 179,182千円）

県立学校において、各教科で I C T の特性を活かした効果的な学習を行うための検証を引き続き実施します。

### [事業内容]

#### (1) 「個別・最適な学び」検証事業 32,270千円

個々の生徒にとって、より効果的な学びとなるようオンラインコンテンツを活用した学習を行います。

[実施校] 県立高校8校

#### (2) AIソフト等を活用した外国語教育 14,357千円

生徒の「話す力」等を強化するためのソフトウェアを、県内全公立中学校及び高等学校等に導入します。

[実施校] 音声リーディングソフト：県内全公立中学校及び高等学校（千葉市除く）

AIソフト：県立高校（2校）及び県立中学校（2校）

### [参考：令和2年度2月補正予算案計上事業]

○県立学校 I C T 環境整備事業【一部新規】（教育政策課、特別支援教育課） 652,000 千円

（既定とあわせ 657,400 千円）

（繰越明許費 652,000 千円）

県立高校及び特別支援学校の I C T 教育環境の充実を図るため、国による助成を活用し、生徒が使用する P C 端末等を整備します。

・端末機器等の整備 627,000 千円

[整備台数] 11,400 台程度

・視線入出力装置のソフトウェア等 25,000 千円

**施策2 道徳性を高める心の教育の推進（※施策7 多様なニーズに対応した教育の推進を一部含む）**

**3. 学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進（児童生徒課）**

848,789 千円（R2 819,606 千円）

いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・解決のため、スクールカウンセラーを増員するとともに、SNSを活用した相談事業を拡充するなど、児童生徒が学校生活を安心して送れる環境づくりを進めます。

[事業内容]

**(1) 学校への支援体制の強化** 733,429 千円（R2 713,200 千円）

- ・スクールカウンセラーの配置 624,937 千円

児童生徒のカウンセリングや教職員・保護者への助言・援助を行うスクールカウンセラーを12人増員します。

[配置人数] 小学校 176人（11人増）、中学校 312人（3人減）、高等学校 89人（4人増）、  
教育事務所等 11人

- ・スクールソーシャルワーカーの配置 100,589 千円

問題の解決に向けて福祉機関等との連携や、学校・家庭環境への働きかけ、児童虐待が疑われるなど緊急性の高い事案に対応するためスクールソーシャルワーカーを配置します。

[配置人数] 小中学校 18人、高等学校 21人、教育事務所 5人

- ・不登校児童生徒支援チームの設置 7,903 千円

不登校が長期化しているケースを対象に知見のある専門家等がチームで支援します。

**(2) 相談体制等の充実** 104,111 千円（R2 95,990 千円）

- ・SNSを活用した相談事業 29,773 千円

中学生、高校生を対象にしたSNSを活用した相談窓口について、年間を通じて開設するとともに、開設日を週2日から週3日に増設します。

[対 象] 県内の中学・高校に通学する生徒約32万人

[実施期間] 令和3年4月1日～令和4年3月31日の週3日（予定）

- ・子どもと親のサポートセンター等における相談事業 74,338 千円

窓口や電話での相談を24時間いつでも受け付けます。

(3) 学校におけるいじめ対応力強化等 11,249 千円 (R2 10,416 千円)

- ・生徒指導アドバイザーの配置 6,673 千円
- ・いじめ防止啓発資料 2,529 千円
- ・いじめ防止対策推進条例に基づく調査会等 2,047 千円

## Ⅱ ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる

### 施策5 人間形成の場としての活力ある学校づくり

#### 4. 県立学校における安全対策（教育施設課） 124,640千円（R2 750,860）

県立学校における老朽化した校舎等の解体を行います。

[実施内容] 耐震性の不足により使用を中止した校舎の解体

[実施箇所] 工事2校2棟

#### 5. 県立学校長寿命化対策事業（教育施設課） 279,200千円（R2 4,714,400千円）

県立学校施設の長寿命化対策を推進するため、「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、実施設計等を行います

[事業箇所] 調査・基本設計 3校19棟

実施設計 8校40棟

#### 6. 高等学校再編事業（教育施設課、財務課） 126,173千円（R2 175,100千円）

県立学校改革推進プランに基づく魅力ある高等学校づくりを進めるため、施設・設備の整備を行います。

[主な事業]

・佐倉南高校への三部制定時制の設置 120,926千円

#### 7. 特別支援学校整備事業（教育施設課、財務課） 2,333,606千円（R2 462,600千円）

児童生徒の増加に伴う特別支援学校の過密解消のため、校舎等の整備を行います。

[事業内容]

・柏特別支援学校の高等部分離に伴う学校新設（R4供用開始 120人規模） 1,774,884千円

・桜が丘特別支援学校教室棟増築（R4供用開始 57人規模） 558,722千円

8. 県立学校空調設備整備事業（教育施設課、財務課） 961,296 千円（R2 1,079,690 千円）

（債務負担行為 762,000 千円）

猛暑対策として、生徒の体調管理のため、県立高校の空調リース料等について引き続き負担するとともに、教職員の執務環境の改善を図るため、職員室等の管理諸室への空調整備を進めます。

[内訳]

(1) 普通教室（高等学校） 830,786千円

- ・設置校のリース料（18校分）等 88,187千円
- ・保護者負担により設置された空調のリース料等（98校分） 742,599千円

(2) 職員室等の管理諸室 130,510 千円

- ・高等学校（設計 15 校、空調リース料 45 校） 130,510 千円

9. 学校における新型コロナウイルス感染症対策

（財務課、学校安全保健課、特別支援教育課） 237,086 千円

（R2.6 補正後 667,776 千円）

(1) 県立学校における保健衛生用品の購入（財務課、学校安全保健課、特別支援教育課）

123,338 千円（R2.6 補正後 467,668 千円）

県立学校における感染症の拡大防止のため、マスクや消毒液等の保健衛生用品を購入します。

[対象施設] 県立中学校、高等学校、特別支援学校

[購入対象] マスク、消毒液、液体石鹸 等

(2) 特別支援学校スクールバス感染症対策事業（財務課、特別支援教育課）

113,748 千円（R2.6 補正後 200,108 千円）

重症化リスクの高い児童生徒が乗車し、かつ乗車率が高いコースなどに引き続き小型バスを1台増車し、感染防止を図ります。

[増車台数] 24 台（24 コース）

[増車期間] 令和3年7月まで

## **施策6 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上**

### 10. 教員の多忙化対策の推進（教職員課、体育課） 284,000 千円（R2 284,000 千円）

教員の長時間勤務を改善するため、教員の事務作業の一部を補助する職員を引き続き配置するとともに、市町村の部活動指導員の配置に対し助成します。

[事業内容]

#### （1）スクール・サポート・スタッフの配置 245,000 千円

[負担割合] 国 1/3 県 2/3

[配置人数] 小中学校 190 人 特別支援学校 29 人

[業務内容] 授業準備、校内掲示物の作成、会議の準備、調査統計のデータ入力 等

#### （2）部活動指導員配置に対する助成 39,000 千円

[負担割合] 国 1/3 県 1/3 市町村 1/3

[業務内容] 実技指導、大会の引率 等

[配置人数] 中学校 65 人

## **施策7 多様なニーズに対応した教育の推進**

### 11. 公立高等学校就学支援金（財務課） 8,940,121 千円（R2 9,272,020 千円）

公立高校に在学する生徒の経済的負担の軽減を図るため、授業料相当額を支給します。

[対象者] 県立・市立高校生

[支給額] 年収910万円未満程度の世帯 生徒1人あたり118,800円／年（全日制）

※年収は目安であり、家族構成により異なる

12. 公立高等学校等奨学のための給付金（財務課） 1,035,360千円（R2 922,586千円）

公立高校等に在学する生徒の保護者の教育費負担軽減を図るため、奨学のための給付金を支給します。

[対象者] 県立・市立高校生、国立高等専門学校等の生徒がいる保護者等

（道府県民税及び市町村民税所得割額が非課税である世帯）

[支給額]

国公立高校等に在学する者で、1人につき以下の額

- ・生活保護受給世帯 年32,300円
- ・第1子の高校生等がいる世帯 年110,100円（通信制・専攻科48,500円）
- ・第2子以降の高校生等がいる世帯 年141,700円（通信制・専攻科48,500円）

[負担割合] 国1/3 県2/3

13. 特別会計奨学資金（財務課） 1,362,059千円（R2 1,094,462千円）

高等学校等の在学者で経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付けます。

[貸付金] 1,361,859千円（R2 1,094,112千円）

貸付枠 4,300人分

貸付月額 10,000円・20,000円・30,000円（選択制）

[国庫返還金] 200千円（R2 350千円）

Ⅲ ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、すべての人が活躍できる環境を整える。

施策8 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進

14. 学校における児童見守り体制の強化（児童生徒課・教職員課）

104,691千円（R2 99,777千円）

児童虐待の未然防止・早期対応を図るため、担任教諭が児童へのきめ細かな見守りやケアを行えるよう授業の一部を代替する非常勤講師や、緊急性の高い困難事案にも迅速に対応できるスクールソーシャルワーカー等を配置します。

[事業内容]

・非常勤講師の配置

90,562円

児童の見守りやケアをきめ細かく行えるよう、担任の授業の一部を代替する非常勤講師を配置します。

・スクールソーシャルワーカーの配置 [再掲] 11,308千円

児童虐待が疑われるなど緊急性の高い困難事案にも迅速に対応できるよう、スクールソーシャルワーカーを各教育事務所にも1名ずつ配置します。

・スクールロイヤーを活用した法的相談体制の構築 2,821千円

教職員が不当な圧力等に毅然と対応できる体制の構築に向け、スクールロイヤーを活用した法的相談等を実施します。

15. 放課後子供教室推進事業（生涯学習課）

138,469千円（R2 134,965千円）

子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、市町村が小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の協力を得て、勉強やスポーツ、地域との交流等を行う「放課後子供教室」の運営費に対して助成します。

[負担割合] 国1/3、県1/3、市町村1/3

[実施見込] 27市町

IV ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

施策10 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成

16. 国際的に活躍できる人材の育成（学習指導課、教育政策課）

287,833千円（R2 286,976千円）

国際的に活躍できる人材を育てるため、中学生・高校生の英語学習の充実を図るとともに、海外留学への助成や国際教育交流の推進により、国際感覚や多文化理解の醸成を図ります。

[事業内容]

(1) 英語教育の推進

- ・英語等外国語教育推進事業（学習指導課） 240,876千円（R2 240,876千円）

県立学校において外国語指導助手（ALT）による授業などに取り組みます。

- ・AIソフト等を活用した外国語教育〔再掲〕（学習指導課、教育政策課）

14,357千円（R2 13,500千円）

生徒の「話す力」等を強化するためのソフトウェアを、県内全公立中学校及び高等学校等に導入します。

(2) 国際交流の推進

- ・高校生等海外留学助成事業（学習指導課） 15,600千円（R2 15,600千円）

高校生等が外国に留学する場合の経費の一部を助成することにより留学を促進します。

- ・国際教育交流推進事業（教育政策課） 17,000千円（R2 17,000千円）

アジア地域に教職員・高校生を派遣し、海外との教育分野での交流を促進します。

17. 県立美術館活性化事業（文化財課）

6,729千円（R2 6,014千円）

- ・「アート・コレクション名品展（仮称）」の開催 1,529千円

千葉県立美術館が所有する目玉作品を一挙に展示する展示会を開催します。

[開催時期] 令和4年1月下旬～令和4年3月中旬の49日間（予定）

[展示構成] 洋画・彫刻等約20点（予定）

・「現代写実絵画の旗手 山本大貴作品展（仮称）」の開催 5,200千円

本県ゆかりの現存アーティストによる作品展を開催します。

[開催時期] 令和4年1月下旬～令和4年3月中旬の49日間（予定）

[展示構成] 絵画・パネル等約20点、作成の様子を撮影した動画1本（予定）

18. 東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業

（文化財課）4,379千円（R2 6,450千円）

東京オリンピック・パラリンピックの大会機運を醸成するとともに、本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

[主な事業]

・千葉からはばたく新世代アート展 4,379千円

県内出身の新進の芸術家にスポットを当てた作品展を開催するとともに、ワークショップ等を実施します。

[時期] 令和3年7月～9月（予定） [場所] 県立美術館

19. 文化財保存整備助成事業（文化財課） 54,800千円（R2 59,700千円）

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成します。

[補助対象] 国指定文化財10件、県指定文化財8件 計18件

[補助率] 国指定文化財 国庫補助額を控除した額の1/2以内

県指定文化財 1/2以内

## 施策 11 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

### 20. オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業（教育政策課）

14,000 千円（R2 14,000 千円）

児童生徒が国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身に付けられるよう、オリンピック・パラリンピック教育を引き続き実践します。また、大会に向け更なる機運醸成を図るとともに、授業でも活用できる教材を作成するなど大会後も無形のレガシーを引き継いでいきます。

[事業内容]

#### (1) 推進校における事業実施及び事業成果の普及 6,000 千円

推進校でオリパラ教育を実践するとともに、その成果を各学校へ普及します。

#### (2) 児童生徒向けリーフレットの作成 3,000 千円

大会を前に競技への理解・関心を高めるため、県内の全ての児童生徒向けにリーフレットを作成・配付します。

#### (3) 教育用 DVD の作成 5,000 千円

パラアスリートとの交流や、「共生社会」や「ボランティア」をはじめとするテーマを素材とした DVD を作成し、授業に活用していくことによって、大会後の無形のレガシーを引き継いでいきます。

### 21. 千葉県競技力向上推進本部事業（体育課） 200,000 千円（R2 200,000 千円）

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

[事業内容]

- ・国体選手強化・サポート事業
- ・ちばジュニア強化事業
- ・スポーツ医・科学サポート事業 等

22. 障害者アスリート強化・支援事業（体育課） 20,000 千円（R2 20,000 千円）

本県にゆかりのある障害者アスリートが、競技力向上に励めるよう、世界選手権等に出場が期待される選手を強化・支援する取組に対し、助成します。

[対象者] 県内の学校の生徒・学生、県内在住又は在勤者 等

[選考基準] 日本代表選手、国内最上位大会入賞者 等

[対象競技] パラリンピック実施の 22 競技

23. 特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業（特別支援教育課）

9,441 千円（R2 15,000 千円）

共生社会の形成に向けて、障害者スポーツを身近なものにするとともに、障害者スポーツによる学校と地域の交流や地域に根付いた持続可能な障害者スポーツの拠点づくりを進めます。

[主な事業]

- ・特別支援学校拠点校（10 校）による障害者スポーツ大会等の開催 3,350 千円
- ・地域の障害者スポーツ継続・発展のための啓発 2,564 千円

その他

24. 教職員人件費（給料等）（教育総務課、福利課） 329,727,145 千円（R2 340,030,687 千円）

令和2年9月現在の学校職員及び教育庁職員の現員数により、給与・職員手当等の年間所要見込み額を計上します。

25. 教職員定数（教職員課） 37,030 人（R2 37,071 人）

[内訳]

(単位：人)

学校種別	R3 年度 ①	R2 年度 ②	増減 ①－②	増減理由
小学校	16,391	16,346	45	基礎定数化による増 等
中学校	9,076	8,964	112	学級数の増 等
高等学校	7,542	7,764	▲222	学級数の減 等
特別支援学校	4,021	3,997	24	学級数の増 等
計	37,030	37,071	▲41	